

学校名 川内南中学校

校長名 霧島 一浩

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価				学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価(数値平均)			対策・改善点	評価(数値平均)			主な意見
段階	人数	平均	段階	人数	平均		段階	人数	平均	
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	A	7	3.0	○学校だよりや、ホームページ等で学校の様子を伝えるようにしている。 ○安心・安全メールを積極的に活用している。	A	4	3.7	・目標を全職員が共有し、取組や対応ができています。 ・安心安全メールが効果的に活用されている。
			B	22			B	2		
			C	7			C	0		
			D	0			D	0		
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	A	5	3.0	○毎学期、生徒・保護者・職員ごとに、数値で評価を行っている。 ○体力面については、体力運動能力調査結果を全国・県と比較して、今後の対策を検討したい。	A	2	3.3	・生徒の実態に即した取組がなされている。 ・学校だより等を通して、取組等の様子が理解できる。
			B	27			B	4		
			C	4			C	0		
			D	0			D	0		
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	A	7	3.1	○不登校減少に向けて、学級づくりに関する校内研修の充実に努める。 ○コロナで安易に行事等を中止せず、工夫して活動に取り組みせたい。	A	3	3.5	・よく工夫された行事が行われている。 ・コロナ禍の中ではあるが、学校行事を大切にしてほしい。
			B	27			B	3		
			C	2			C	0		
			D	0			D	0		
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	A	8	3.0	○いじめアンケートを定期的の実施し、早期対応に努める。 ○様々な関係機関と積極的に連携を図り、初期対応の充実に努める。必要に応じてケース会議等も開催する。	A	3	3.3	・子供目線に立って子供とよく対話し、よりよい関係づくりに努めている。 ・様々な関係機関とよく連携がとれている。 ・SNS等のトラブルに注意してほしい。
			B	21			B	2		
			C	7			C	1		
			D	0			D	0		
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	A	9	3.2	○様々な場面で指導を繰り返しているが、給食時間の放送もよく利用している。 ○地域と連携して、安全パトロールをお願いしている。	A	3	3.3	・交通安全等、安心安全メールをよく活用し、よく啓発がなされている。 ・登下校の見守りについては、指導等をよく行っている。 ・危険個所が多数あるので、地域との連携強化が必要である。
			B	25			B	2		
			C	2			C	1		
			D	0			D			
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	A	6	2.9	○3年生が職場体験活動の代替として、地域の方々と一緒に奉仕作業を実施した。今後は回数を増やすなど、継続していきたい。	A	1	3.2	・地域の行事によく参加していると思う。 ・地域との関係については、教職員により差を感じる。
			B	22			B	5		
			C	8			C	0		
			D	0			D	0		
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	A	7	3.1	○日常の清掃活動やボランティア部の清掃活動等により、きれいな学校を目指している。 ○本年度より、新しい学年園づくりに努めている。	A	5	3.8	・学校の環境整備・美化に向けて、よく行っている。
			B	25			B	1		
			C	4			C	0		
			D	0			D	0		
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	A	13	3.3	○毎月の安全点検を確実に実行し、早めの対応に努めている。 ○今後も保護者や地域の協力も得ながら、学校環境の維持に努めたい。	A	4	3.7	・よく整備されている。
			B	20			B	2		
			C	3			C	0		
			D	0			D	0		
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	A	7	2.9	○鹿児島学習定着度調査や全国学力学習状況調査、体力テストについては、今後も学校だよりや学校運営協議会で公表していきたい。	A	2	3.2	・よく周知されていると思う。 ・もう少し、地域にもわかるような手立てがほしい。
			B	18			B	3		
			C	11			C	1		
			D	0			D			
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	A	5	3.0	○コロナ禍による制約があるが、今後もPTA活動や部活動、地区コミには可能な範囲で、協力をお願いしていきたい。	A	1	3.0	・地域は、学校に対してとても協力的である。 ・地域と学校の協力体制がよく取れていると思う。
			B	27			B	4		
			C	4			C	1		
			D	0			D	0		

様式6 令和3年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
川内南中学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			段階	人数	平均		段階	人数	平均	主な意見
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均	○コロナの影響で小中交流授業に変えて、タブレットを活用したウォークラリーを実施。 ○学力向上を中心テーマとして研究公開を開催(2月16日)。	段階	人数	平均	・全職員が小中一貫教育に一生懸命取り組んでいると思う。 ・小中間の連携がよく取れていると思う。
			A	7	3.0		A	3	3.5	
			B	22			B	3		
			C	7			C	0		
D	0	D	0							
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	平均	○キャリア教育の推進に向けて、職業講話(1年)、立志講演会(岡野エレクトロニクス:2年)、マナー講座(鹿児島高校:3年)を実施。	段階	人数	平均	・外部講師を活用されてながら、よく取り組まれている。
			A	8	3.0		A	3	3.5	
			B	20			B	3		
			C	8			C	0		
D	0	D	0							
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	○6月に本校で英語の研究授業を実施し、小学校教諭も参加。小・中教諭による英語科の情報交換会も実施。 ○小学校の英語の公開授業にも参加。	段階	人数	平均	・小中間でよく取り組まれていると思う。
			A	7	2.9		A	3	3.5	
			B	18			B	3		
			C	11			C	0		
D	0	D	0							
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	○生徒会と連携して川内南中学校重点行動目標「ARM*S(アームズ)」を設定し、A:挨拶の推進に努めている。 ○地域へも生徒への声掛けをお願いしたい。	段階	人数	平均	・地域でもよくあいさつしてくれている。
			A	6	2.9		A	2	3.3	
			B	21			B	4		
			C	9			C	0		
D	0	D	0							
15	(8)	服務規律の厳正確保と校務の整理について、全職員の理解と実践がなされている。(自分のこととして捉えて	段階	人数	平均	○新聞記事等を活用しながら、年間を通して指導を行っている。 ○年末は、警察署職員による指導講話も実施した。	段階	人数	平均	・服務規律の厳正確保に向けて、先生がよく取り組まれている。 ・特に、問題を感じない。
			A	15	3.4		A	4	3.7	
			B	21			B	2		
			C	0			C	0		
D	0	D	0							

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から学校・PTA・地域と一緒に活動する機会が少ないが、感染減少の際は共に活動できることを決めて実施し連携を高める。
- ・地区コミに対し、色々と協力を依頼する等、地区コミとの協力体制を強くしていくことが大事では。
- ・母親(女性)の意見も聞ける人選が必要ではないか。
- ・会議だけでなく、色々な学校行事の際、委員も参加できるようにしていただけたら良いと思います。